



## Bonne Année !

令和3年が皆様にとりまして良い年でありますように  
一般社団法人福島日仏協会 理事長 瀬谷俊雄

### 本に囲まれて

フランスの書店と本にまつわるNHKテレビ番組を最近見て、活字中毒気味の私にとって本の持つ魅力と本に囲まれて時を過ごすひと時の落ち着きと安らぎ、楽しみを改めて思い知った。その番組は「夢の本屋をめぐる冒険〜フランス編」で紹介された『シェイクスピア・アンド・カンパニー』である。

『シェイクスピア〜』は、パリ市街地にありながら店内の一万冊は殆ど英語の本。これは米国の裕福な家で生まれ、パリでフランス文学を学んだ女性シルヴィア・ビーチが1919年32歳の時に、パリに住むアメリカ人作家を支援したいと開いた書店で、本が繋ぐ出会いを大事にするとの思いで営んだ。そんな彼女の気持ちやフィッツジェラルドやマンレイ、後にノーベル賞を受けたヘミングウェイなど若い作家を呼び寄せ、彼女の世話を受けて常連となった若き彼らの心の拠りどころとなった。ヘミングウェイは「そこは素敵で暖かく快適な場所だった」と記している。

1941年にナチスドイツ軍がパリに侵攻し、閉店に追い込まれたが、戦後に米退役軍人のジョージ・ホイットマンが軍放出の本をもとに書店を開き、シルヴィアが常連となって意気投合。彼女が亡くなる時に自分の本と遺品、『シェイクスピア・アンド・カンパニー』の書店名も譲り、彼が二代目の店主となった。その後、彼は娘にシルビアの名を付け、現在は彼女が三代目の店主になって書店を営んでいる。初代シルビアの様に本棚が縦横に取り付けられた店内各所には椅子や机、タイプライターが置かれて思い思いに訪れた客が読書し物を書き、またピアノもあって弾く人など様々。本を通じた人と人とが繋がる書店は本好きにとって天国とも言え、訪れた外国人客も「パリで過ごした最高の時間だった」と興奮気味



壁一面に各国の絵本が  
展示された絵本美術館



館内の片隅で読書の  
ひとときを楽しむ小生

に語っていた。40年ほど前にパリを訪れた事があったが、この書店を知っていたら訪れたものを…と誠に残念に思ったものである。

福島県にも魅力的な本の館がある。いわき市平豊間海岸の高台にある『絵本美術館〜まどのそとのまたむこう』がその素晴らしい館である。いわき幼稚園の先代園長・巻レイさんが幼児の情操教育の一環として「景色を生かす建物を」と安藤忠雄氏に設計を依頼、2005年に30年来の夢を実現し開館した。豊間灯台を挟む薄磯と豊間は東日本大震災の津波で大きな被害を受けたが、この絵本美術館は被害を免れ復興の進む豊間地区と灯台を望み広大な太平洋を一望にじっくりと本との触れ合いが楽しめる。外国の初版本も展示されて絵本1500冊を館内の壁一面に収め、書棚に沿って回廊の様に館内を巡る事が出来る。園児教育のための施設なので一般の受け入れは限られているが、2年前に機会があって訪れる事が出来た。そして心躍るひとときを過ごし、また「キンダーブック」などを手に子供時代の思い出にも浸れて時を忘れるほどの思い出となった。

県内にこのような素敵な施設があるのは本好きにとって何事にも代えがたい喜びである。

菅野輝栄（会員）

### フランス料理を楽しむ会 2021 年度前期日程のご案内

※各コースともコロナ感染対策で教室開催条件は当面受講生 8 名以内

コース	月曜日コース	水曜日コース
日程	前期・後期各 4 回 前期 5/10、6/14、7/12、9/13(※予定)	前期・後期各 4 回 前期 5/12、6/16、7/15(※木曜日)、9/15(※予定)
講師	料理担当(3回) 中田 智之 (なか田 オーナーシェフ) 菓子担当(1回) 相良 栄二 (大玉ベース パティシエ)	菅野 喜代治 (ミュゼ・ドゥ・カナル オーナーシェフ)

## Mon journal en français

On dit qu'il y a en France l'habitude de prendre des résolutions au début d'année.

Ma première résolution cette année est de faire la cuisine au moins une fois par semaine à la place de ma femme. C'est la même que j'ai prise l'année dernière et que je n'ai pas pu réaliser. Mais, en profitant du mouvement « stay home » (rester chez soi), j'espère la réaliser cette année avec optimisme.

La deuxième est de concilier les études et le travail. J'ai pris ma retraite à la limite d'âge au printemps dernier et j'ai commencé à travailler dans un autre lieu de travail. Mais en ayant envie de démarrer quelque chose de nouveau à l'occasion de mes 60 ans, j'ai passé le concours d'admission au cours de maîtrise d'une certaine université en tant qu'employés, et j'ai été heureusement reçu.

La spécialité est la langue et la littérature allemandes. Mais, pourquoi pas le français mais l'allemand? Il n'y a pas de raison spéciale. Ce n'est que parce que j'ai pris le cours d'allemand comme deuxième langue étrangère à l'université, et qu'il était avant tout facile d'expliquer la raison de ma candidature qui est demandée dans les documents, car je m'étais occupé des échanges industriels avec la Rhénanie-du-Nord-Westphalie pendant quelques années à la fin de mon travail précédent.

J'avais recommencé à étudier l'allemand longtemps après au cours radiophonique NHK quelques années après le tremblement de terre du Tohoku. Les cours des langues étrangères de la NHK sont de bonne qualité et ne peuvent jamais être méprisés. J'ai entendu dire que quelques-unes d'universités qui ont commencé à donner des cours en ligne après la propagation du coronavirus, ont du mal à préparer des matériels pédagogiques de plus de qualité que ceux du cours radiophonique de la NHK.

À propos, le thème de décembre des cours radiophoniques de l'allemand était un discours télévisé que le Président de l'Allemagne M. Steinmeier avait annoncé concernant la pandémie de coronavirus avant Pâques le 11. avril de l'année dernière. « Wir stehen jetzt an einer Wegscheide. (de) », ce qui veut dire « Nous nous trouvons maintenant à un carrefour. (fr) »

Il a commencé son discours en disant « Ça fait de la peine de renoncer à rendre visite aux parents et il est déchirant pour les grands-parents de ne pas pouvoir serrer leurs petits-enfants dans leurs bras malgré Pâques. » Et après avoir remercié les soignants ainsi que les caissiers des supermarchés, les préposés au nettoyage de la ville etc, il avait dit que « Cette pandémie n'est pas la guerre, mais c'est notre humanité (Menschlichkeit) qui est éprouvée. » « Ce qui décide quand et comment les restrictions seront relâchées, ce n'est pas seulement les politiciens ou les spécialistes, mais c'est nous qui le prenons en main à travers notre patience et notre discipline. » C'est un discours très émouvant qui résonne dans le cœur de chaque personne.

## 私のフランス語日記

フランスでは年の初めにその年の抱負 (la résolution) を語る習慣があるといえます。

私の今年の抱負 (la résolution) は、第一に週に1回は妻に代わって料理をすることです。これは去年も同じことを言っていて果たせなかったもの。でも、ステイホームを利用して今年は実現できるのではないかと楽観的に考えています。



2つ目は勉強と仕事を両立させることです。私は、昨春、定年退職し、別の職場に移りました。でも、還暦を機に何か新しいことを始めたくて、ある大学の大学院入学試験を社会人特別枠で受験し、幸いにも合格できたのです。

専攻はドイツ語学・ドイツ文学。でも、どうしてフランス語ではなく、ドイツ語なの? 特別な理由はなく、大学の第2外国語でドイツ語を取っていたことと、そして何よりも、以前の職場の最後の方の数年間、ノルトライン・ヴェストファーレン州との産業交流の仕事に関わっていたので、書類上求められる志願理由を説明しやすかったというだけのことです。

ドイツ語は、東日本大震災の数年後にNHKのラジオ講座で久しぶりに勉強を再開していました。NHKラジオ語学講座は質が高く、決して侮れません。新型コロナウイルス蔓延後にオンライン授業を行っている大学のうちのいくつかは、NHKラジオ語学講座を超える内容の教材を用意することに困難を感じていると聞いたことがあります。

ところで、そのラジオのドイツ語講座の12月のテーマは、ドイツのシュタインマイヤー大統領が昨年4月11日に復活祭を前にしてコロナパンデミックに関して行った「私たちは今岐路に立っている」というテレビ演説でした。

彼はその演説を「両親を訪れることもかなわず、復活祭だというのに祖父母は孫を抱きしめることもかなわなくなり、胸の引き裂かれる思いです」という言葉で始まります。そして、医療や介護、さらにはスーパーのレジや街の清掃現場で働く人々などに感謝の思いを伝えた後、「このパンデミックは戦争ではありません。そうではなく、試されているのは私たちの『人間性』なのです。」

「時限措置をいつどのように緩めるかは政治家や専門家だけが決めるのではなく、国民一人一人が忍耐と規律を持った行動を通じてこれを決めるのです。」と述べます。国民一人一人の心に響く非常に感動的な演説でした。



Le discours par la Chancelière Merkel le 18. mars de l'année dernière a été aussi apprécié dans le monde entier, et celui prononcé le 9. décembre était d'autant plus impressionnant que la Chancelière qui d'habitude garde toujours son sang-froid était vraiment dans l'émotion avec une conscience de crise.

M. Gen-yu Sokyū, un écrivain d'origine de Fukushima a envoyé un article au journal Fukushima-Minpo en comparant le discours de Mme. Merkel avec celui du Premier ministre du Japon M. Suga annoncé avant les fêtes à la fin de l'année (C'était nommé « les trois semaines de jeu »). Il reproche au Premier ministre Suga de ne pas serrer le peuple contre son cœur. Le Premier ministre n'a pas été touché par la tristesse du peuple qui ne peut pas voir leurs familles qui habitent loin, et a dit seulement que les longues vacances sont pratiques pour la restriction de sortir, alors que la Chancelière a apprécié l'envie du peuple de réunir au Noël et a appelé le peuple à tout mettre en œuvre jusqu'à ce jour pour prévenir plus de propagation du coronavirus, en disant qu'elle ne voulait pas que cette année soit la dernière occasion où les familles peuvent se réunir au Noël.

Je suis tout à fait d'accord avec M. Gen-yu. Je me sens triste en pensant d'où vient cette différence. Je ne peux pas m'empêcher de penser que le Premier ministre du Japon accorde plus d'importance à l'économie qu'au cœur du peuple. En fin de compte, j'imagine qu'il s'agit de « l'humanité ».

Oh là là! J'ai failli creuser ma tombe. Le reproche de quelqu'un risque de rebondir sur moi. Je dois faire attention à ce que ma femme ne me critique pas en disant que le fait de ne pas tenir ma promesse de faire la cuisine une fois par semaine est dû à mon manque d'humanité...

un élève du cours de conversation en français :  
Chizuo Hayashi

メルケル首相が昨年3月18日に行った演説もまた世界中で評価されており、12月9日に行ったものは、普段は冷静沈着なメルケル首相が危機感からとても感情的だったことでおさら印象的でした。

福島県出身の作家、玄侑宗久さんは、福島民報に寄稿し、メルケル首相の演説と日本の菅首相が年末年始の休暇（「勝負の3週間」と名付けられていました）の前に行った演説とを比較しています。

玄侑さんは、菅首相は国民の心に寄り添っていないと批判していました。首相は、遠くに住んでいる家族に会えない国民の悲しみに思いを馳せることもなく、ただ長い休暇は外出自粛には都合がいいと言うだけなのです。それに対してメルケル首相は、人々がクリスマス



スに集まりたいと思う気持ちを大事にしつつ、自分は、今年を家族がクリスマスに集まれる最後の機会にしたいと言いつつ、新型コロナウイルスのこれ以上の

拡大を防ぐためにクリスマスまで全力を尽くそうと人々に呼びかけているのです。

私も玄侑さんと全く同感です。この彼我の差は一体どこから来るのだろうかと思うと悲しくなります。日本の首相は、国民の心情よりも経済を重視しているのだと思えません。結局これも「人間性」の問題なのでしょう。

おっと、いけない。墓穴を掘るところでした。人の批判は自分自身に跳ね返ってきます。約束を守らずに週1回の食事作りをしないのは、私の「人間性」の欠陥のせいでと妻から言われることのないように注意しなければ・・・。

(会話教室受講生 林 千鶴雄)

次回は、吉田美由樹さんお願いします！

## 福島市のルルド



フランスの秘境地ルルドの泉同様「水」は持ち帰り出来ます。

フランスの南西部にあるルルドはカトリックの聖地です。泉から湧き出る「奇跡の水」を求めて大勢の人々が世界中から訪れています。

福島市山田にある「主恩の丘 ルルドの聖母 マリア堂」の敷地内には実物大に作られたルルドの洞窟があります。ここは1981年、マザー・テレサが来日した時、故阿部クニ女史は彼女に「福島に持っている土地と施設をお上げしますので、自由に使ってください。」と申し出て、「私の仕事をあなたが日本でやってください。」と言われて作ったのだそうです。裏手にはイエス・キリストが処刑されたゴルゴダの丘に見立てたものも作ってあります。カトリックの聖堂ではイエス・キリストが処刑されるまでの様子を描いたものがありますが、実物大に作られたのは見たことがありません。海外旅行が難しい今、福島市でフランスやイスラエルを感じられるものを見ることができるとあってうれしいですね。

## 大学生活 1年目を終えて

こんにちは。昨年度まで福島日仏協会のフランス語教室に参加させていただいていた、赤城みうと申します。現在は東北大学文学部1年生で、仙台に住んでいます。今回は、コロナ禍での私の大学生活について書こうと思います。

私の大学生活は、新型コロナウイルスのパンデミックと共にスタートしました。前期の授業は完全にオンラインで、大学生になった気がしませんでした。後期からは、対面での授業は週に3コマありました。しかし年末年始ごろから感染者数が増えたことで、また全ての授業がオンラインになってしまいました。この文章を読んでいる方の中には、かわいそうだと思う方が多いと思います。しかし実を言うと、私の生活が変わるタイミングと同時にコロナで社会全体が変わったので、何かを失ったというような気持ちはあまりありません。「普通の」大学生活を知らないの、私にとってはこれが普通になってしまいました。それに、オンラインの授業も悪いところばかりではありません。例えば、その週の担当者の生徒が英文を読んできて要約したり和訳したりする授業があります。教室でやると声が小さくて聞こえなかったり黒板の字が見づらかったりすることがありますが、オンライン授業では音量を調整することができるし、画面を共有するので文字が見えなかったり読みにくかったりすることはありません。また、事前に録画されている動画を視聴するタイプの授業なら、教室での授業のように眠くて

集中できなかったということがありません。途中で眠くなったりトイレに行きたくなったりしたら、一旦停止することができます。集中力が一番高い時に授業を受けることができます。とはいえ、私はやはり教室で友達や先生と顔を合わせて授業を聞く方が好きです。4月からはもっと状況がよくなることを祈るばかりです。

そんな中、出会いもありました。私は大学の寮のような施設に住んでいます。8人でシャワーやキッチンを共有していて、住んでいる学生の半分は留学生です。なんとそこでフランスからの留学生の方たちと友達になりました。今では一緒に勉強したり学食にご飯を食べに行ったりしています。右の写真は、そのうちの1人と光のページェントで撮った写真です。



思うようにならない日々が続きますが、私は仙台でできる範囲で楽しんでます。皆さんも健康第一でこのパンデミックを乗り切りましょう！

Bonjour. Je m'appelle Miu. Je suis étudiante à l'université de Tohoku en littérature.

Ma première année à l'université va bientôt se terminer. J'en profite au maximum malgré le fait qu'on est en pandémie. Merci.

赤城みう (AKAGI Miu)

## フランス語会話教室開講 4月17日(土曜日)～

クラスは6クラス、生徒さんのレベルや希望に応じたクラスにいつでも入会できます。映画、音楽、旅行など、素敵なフランス文化が気軽に身につく、新しい世界も開きます。国際経験豊富な若くて気さくなイザベル先生の授業はわかりやすいと好評です。年30回。場所は福島県林業会館1F会議室。

現在、受講登録されている方には新年度受講のご意向(〇〇月から)をハガキ返信でお伺いします。



### 2021年度 フランス語会話教室 日程表 年30回

前期：15 cours				後期：15 cours				講座	時間	受講料		
Avril	4月	17	24	Oct.	10月	9	16	30	入門	10:00～11:00	78,000	
Mai	5月	15	22	Nov.	11月	6	20	27	上級	11:00～12:00	90,000	
Juin	6月	5	12	26	Déc.	12月	11	18	初級1	12:00～13:20	78,000	
Juillt	7月	3	17	24	31	Janvier	1月	15	22	初級2	14:00～15:20	78,000
Août	8月	28		Février	2月	5	19	26	中級1	15:20～16:40	78,000	
Sept.	9月	4	18	25	Mars	3月	12	19	準上級	16:40～18:00	82,000	

お申込み・お問合せ 福島日仏協会 石堂まで TEL：090-7063-3453

(中、高生 68,000円) ※4回分納可

